

## 4 人を導く星…『三博士の礼拝劇』Auto de los Reyes Magos

Madrid から真南に Andalucía を目指す国道 4 号線のドライブは快適だ。一気に Córdoba に向かうのもよいが、国道を西に外し Ciudad Real 県の Almagro という町に寄るのも趣きがある。小さな町なので Plaza Mayor の周りをぶらぶらと散歩するだけでも楽しい。スペイン文学に興味のある人にとっては 16 世紀に建てられた屋根のない「中庭劇場」Corral de Comedias は見逃せない。ここでは毎年国際古典劇フェスティバルが開催されている。私が訪れたとき芝居は行われていなかったが見学は自由で舞台に上がることで許された。

私はスペインの景色が一番美しく輝くのは黄昏(たそがれ)時の一瞬だと思う。昼過ぎに Almagro を発ち、左手に夕陽を見ながら田舎道を北の Toledo に向かったときも、素晴らしい夕暮れの景色を目の当たりにした。そして夜が更けてもさらに楽しみがある。安全な場所に車を寄せて見上げれば、乾燥した Meseta の高原の空に何一つ遮(さえぎ)る物もなく満天の星が見られる。まさに宇宙の広大さと地球の奇跡をあらためて実感させられる。



【写真 4a】Ciudad Real の田舎道

### ●最古のスペイン語劇

二千年前にひたすら夜空を観察し珍しい星を発見した人がいた。『聖書』「マタイによる福音書」(*Evangélio según San Mateo*)に記されたエルサレム東方の占星術師たちである。今回取り上げる古いスペイン語のテキスト『三博士の礼拝劇』 *Auto de los Reyes Magos* はこの占星術師たちの物語である。スペイン語で書かれた現存する最古の劇で Toledo の大聖堂の写本の中で発見された。

この礼拝劇は内容と言語的な特徴から 12 世紀末の作品とされている。完全な形では伝わらず今日読むことができるのはわずか 147 行にすぎない。次の 5 つの場面から成る。第一場: 星占いの三博士が珍しい星を見つけイエスの生誕の徴(しるし)ではないかと疑う。第二場: はたして赤子は王か、人か、それとも神か。王ならば金の進物を、人ならば没薬を、神ならば香を望まれるだろう。第三場: ヘロデ王の

登場。王の逡巡。第四場：王の独白。第五場：王と三博士の議論。博士たちの疑念。現存するテキストはここで中断するが、おそらく原典は三博士が赤子のイエスに礼拝する場面で終わっていたと思われる。早速第一場を読もう<sup>1</sup>。

(1)

	<i>Escena I</i>
	<i>(Caspar, solo)</i>
1	Dios criador, ¡qual marauila,
2	no se qual es achesta strela!
3	Agora primas <b>la e ueida,</b>
4	poco timpo a que <b>es nacida.</b>
5	¿Nacido es el Criador
6	que es de la gentes senior?
7	Non es uerdad, non se que digo;
8	todo esto non uale uno figo.
9	Otra nocte me lo catare;
10	si es uertad, bine lo sabre.
	<i>(Pausa)</i>

【語句】2 **achesta** > esta この 3 **Agora** > ahora agora は今日でも各地の方言に残っている **primas** = por primera vez はじめて **ueida** > vista 4 **a** = hace ...前に 5 **Nacido es** = Ha nacido 8 **uale uno figo** > vale un higo 価値がない 9 **nocte** > noche **catare**, catar = miraré, mirar 見る, 観察する 10 **bine** > bien よく。

【訳】1 創造主の神よ! 何と不思議なことか, 2 あの星は何だろう。3 私が目にするのはこれが初めてだ 4 ほんの少し前に星が生まれた。5 神がお生まれになったのか。6 諸々の民の主であられる神が。7 いや, そうではない。私は自分が何を言っているのかわからない。8 こんなことはすべて何の価値もない。9 再び明日の晩よく観察しよう。10 それが真実か, よく見極めよう。

---

<sup>1</sup> テキストは R. Menéndez Pidal. *Revista de Archivos, Bibliotecas y Museos*, IV. (1900), p. 453. による。Gifford y Hodcroft (1966) pp.37-42. に再録。

2 行目のエクスクラメーションマーク(!)も、6 の疑問符(?)も当時の書記法にはなかったので校訂者の解釈によるものである<sup>2</sup>。前者については大きな意味の違いがないが、疑問符の有無は重要だ。ここでは 7-8 で自分の発見をにわかには信じられない様子があるので、やはり 5-6 の全体が(自らに発した)疑問文であろう。9-10 で現象の再現性を確認しようとするのはいかにも学者らしい。

### ●現在完了形

現代スペイン語の現在完了は「haber の活用形+過去分詞」という組み合わせで作られる。英語の「have (has)+過去分詞」とよく似ている。英語の have と同様にスペイン語の haber にも昔は「持つ」という意味があった。それでは、①なぜ「持つ」+過去分詞が現在完了形として働くようになったのだろうか。そもそも、②現在完了とは何なのだろうか。

①の理由を探るには、上の本文の 3 の *la e ueida*, つまり「aver + ver の過去分詞」という形が鍵になる。これが古い現在完了の形であった。ver「見る」のように他動詞のときは助動詞に aver (> haber) が使われる。ここで過去分詞 ueida が目的語 *la* と性数が一致していたことに注目したい。これは「主語(S. Sujeto)+動詞(V. Verbo)+目的語(O. Objeto)+目的語の補語(C. Complemento)」という構文であったことを示している。目的語の補語だから目的語と性数が一致していたわけである。よって、この文の原義は「私はそれ(星)を見られたものとして持っている」というような意味になるだろう。もちろん現代語の haber には「持つ」という意味はなく、全体で「…した、…してしまった」という意味である。

本文 5 の *Nacido es el Criador* も「創造主がお生まれになった」に、もう一つ興味深い現在完了形が見られる。この *nacer*「生まれる」のような自動詞の場合は aver (>Mod. haber) ではなく、*es* という *ser* 動詞が使われていた。これは存在を意味する *ser* 動詞と完了を意味する過去分詞が組み合わさって「…してある」という現在完了の意味になっている。現代スペイン語では *Ha nacido el Criador* となる。

現在完了は「過去に完了したこと」(過去分詞が示す)を現在の時点でとらえる(haber の現在形), という複合的な意味になる。このように②の疑問はその由来を考えながら構造を見つめ直すと答えが見つかる。

---

<sup>2</sup> 文頭の逆転する疑問符(?)はなかったが文末の疑問符(?)はあった。Menéndez Pidal (1976: 176) の *Lámina xxv* を見ると *Nacido es el criador* の直後にアクセント記号(?)があるのがわかる。

現在完了のhaberと過去分詞の間には他の要素が入らない。たとえば、×Ya te lo he yo dicho.(もう君にそれを言っておいた)のように現在完了形の中にyoを挟むことはできない。中世と違って現代のスペイン語ではhaberと過去分詞が一体化しているからである。しかし、よく調べてみると、たとえばYa te lo había yo dicho.のような過去完了形やHabrá usted bebido demasiado. (あなたは飲み過ぎたのでしょうか)のような未来完了形に分立状態が見つかる。現在完了ではhe, has, haというような短い形になって完全に一体化しているが、過去形や未来形はhaberの元の形がよく保たれているので一体化がまだ完全ではないのだろう。

### ●指示形容詞・代名詞 este, ese, aquel

本文中の 2 achesta (aquesta), 14 achesto (aquesto), 16 achest (aqueste) は、それぞれ esta, esto, est(e) が ach- (<Lat. eccum) によって補強され形である (後の 19 に esta, 83 に est(e)の形もある)。esse にも aquesse という補強形があった。これらの形は 15 世紀から衰退したが, aquel, aquella, aquello だけは現代語まで残った。これは補強部 aqu-(ach-)がないと定冠詞の el と同形になるために区別が保たれたのだろう。

### ●作者はフランス人か

劇の続きを見よう。

(2)

11	¿Bine es uertad lo que io digo?
12	En todo, en todo lo prohio.
13	¿Non pudet seer otra sennal?
14	Achesto es i non es al;
15	nacido es Dios, por uer, de <b>fembra</b>
16	in achest mes de <b>december</b> .
17	Ala ire o que fure, aoralo e,
18	por Dios de todos lo terne.

【語句】11 **Bine** > Bien本当に **uertad** > verdad 真実 **io** (> yo) 私 12 **en todo** > en todo caso, siempre 常に, 確かに 12 **prohio** > porfío 私は確かめる 14 **al** = otra

cosa 他のこと 15 **uer** > **verdad fembra** > **hembra, mujer** 女性 16 **december** > **diciembre** 17 **ala** > **allá o = dond ...** …のところに **fure** > **fuere =fuera aoralo e** > **lo adoraré** 分離未来形 18 **terne** > **tendré** 私は持つだろう。融合未来形

【訳】11 私の言っていることは真実なのだろうか。12 これを確かめよう。13 他の徴(しるし)でないだろうか。14 (いや)これこそ確かで、他のことではない。15 神が本当に女性からお生まれになったのだ。16 この 12 月に。17 どこであろうと、そこに行き行って礼拝しよう、18 皆の神であられるのだろう。

私たち日本人は音節のリズムには敏感だが脚韻には気がつかないことがある。しかしスペイン語話者ならば脚韻の不一致を見逃さない。たとえば 15 の **fembra** と 16 の **dicember** の語末は似ているが厳密に言えば脚韻が揃っていない。このことからスペイン語歴史言語学の権威 **Rafael Lapesa** はこの劇が当時 **Toledo** に多かったフランスのガスコーニュ人がカスティーリャ語で記したものと推定した (**Lapesa, 1954**)。

原典はスペイン語で正しく書かれてあったのにフランス人が間違えて筆写したのだろうか。それとも中世カスティーリャには演劇の伝統はなかったのだろうか。事実中世スペイン演劇の一番星 **Auto de los Reyes Magos** に続く作品は皆無に等しかった。カスティーリャ語劇の本格的な幕開けはずっと遅く近代まで待たなければならない。やがて百花繚乱(りょうらん)の演劇が競い合うスペイン黄金世紀を迎え、あの **Almagro** の舞台でも星空の下で盛んに上演されていたはずである。



【写真 4b】Toledo

## ■課題・テキスト

スペインに限らず中世ヨーロッパの劇の起源は礼拝劇であった。はじめは教会内で短い句がラテン語で歌われていたが、12 世紀になると土地の言葉で演じられる劇が現れ、教会内ではふさわしくないとされ野外劇に転じた。*Autos de los Reyes Magos* は現存する最古のスペイン語で書かれた劇で、**Toledo** の大聖堂の写本の中で発見された。その内容と言語的な特徴から 12 世紀末の作品とされる。完全に

は伝わらず、今日読むことができるのは 147 行だけである。以下の 5 つの場面から成る。

- 第 1 場。星占いの三博士カスパル、バルタサル、メルチョルが珍しい星を見つけイエスの生誕を徴(しるし)ではないかと疑う。
- 第 2 場。はたして赤子は王か、人か、それとも神か？王ならば金の進物を、人ならば没薬を、神ならば香を望まれるだろう。
- 第 3 場。ヘロデ王の登場。王の逡巡。
- 第 4 場。ヘロデ王の独白。
- 第 5 場。ヘロデ王と三博士の議論。博士たちの疑念。

現存するテキストはここで中断するが、おそらく原典は三博士による赤子のイエスに礼拝する場面で終わっていたと思われる。

(1, 2)

[前掲]

(3)

*(Baltasar, solo)*

19 Esta strela non se dond uinet,  
20 quin la trae o quin la tine.  
21 Por que es achesta sennal?  
22 en mos dias no ui atal.  
23 Certas nacido es en tirra  
24 aquel qui en pace i en guera  
25 senior a a seer da oriente  
26 de todos hata in occidente.  
27 Por tres noches me lo uere  
28 i mas de uero lo sabre.

*(Pausa)*

29 En todo, en todo es nacido  
30 Non se si algo e ueido.

31	Ire, lo aorare,
32	i pregare i rogare.

【語句】19 **strela**<sup>3</sup> > estrella 星 19 **non** > no 「否定」の副詞 19 **dond** > de dónde どこから 19 **uinet** > viene 来る 20 **quin** > quien 誰が 20 **tine** > tiene 持つ 21 **sennal** > señal 徴し 22 **mos** > mis 私の 22 **atal** > tal cosa そのようなもの 23 **Certas** > ciertamente 確かに 23 **tirra** > tierra 土地 24 **qui** > quien 関係代名詞 24 **pace** > paz 平和 **guera** > guerra 戦争 25 **senior** > señor 主 25 **a a** = ha de ... …であるはずだ **seer** > ser ... …である 26 **hata** > hasta ... …まで(< Ar.) 27 **uere** > veré 私は見よう 28 **mas** > más さらに 27 **de uero** > de verdad 確かに 30 **ueido** > visto ver の過去分詞 31 **aorare** > adoraré 私は礼拝しよう 32 **pregare, pregar** (s. XIII) = oraré, orar 祈る

(4)

	<i>(Melchor, solo)</i>
33	Ual, Criador, atal facinda
34	fu nunquas alguandre falada
35	o en escriptura trubada?
36	Tal estrela non es in celo,
37	desto so io bono strelero;
38	bine lo ueo sines escarno
39	que uno omne es nacido de carne,
40	que es senior de todo el mundo,
41	asi cumo el cilo es redondo;
42	de todas gentes senior sera
43	i todo seglo iugara.
44	Es? non es?

<sup>3</sup> Lat. st- > Esp. est- の変化により, stella > estrella となった。ここで *strela* とあるのは前の *Esta* の母音 -a によるものと考えられる。実際, 後の 36 では *Tal estrela* となっている。Mod. *estrella* の -r- はギリシャ語源の *astro* との類推からと説明されることがあるが, これは日常ではあまり使われない言葉なので, むしろ音声的な原因を探るべきである。つまり, 後の流音 -ll- が影響して -r- を生んだものと思われる。cf. Corominas y Pascual, s.v. *estrella*。

45	Cudo que uerdad es.
46	Ueer lo e otra uegada,
47	si es uertad o si es nada.

【語句】33 **Ual** > Val 護りたまえ 33 **Criador** > Creador 創造主 33 **atal** > tal そのような 33 **facinda** = suceso 出来事 34 **fu** > fue (ser の点過去) 34 **nunquas** > nunca 「一度も...ない」34 **alguandre** > alguna vez かつて Lat. aliquando. 34 **falada** > hallada, hallar 見つかる 35 **escriptura** > escritura, libro 書物 35 **trubada** = encontrada 見つける。cf. Fr. trouver「見つける」。36 **es** = está ある 37 **desto** > de esto このことについては 37 **estrelero** 星占い師 38 **bine** > bien よく 38 **ueo** > veo 私は見る 38 **escarno** = error, engaño 間違い 39 **omne** > hombre 人 Lat. homine > Med. Esp. omne > Mod. Esp. hombre. 他の語では -mn- > -mbr- の変化は当時進行していた。cf. 15 fembra (Lat. femina); 81 nombres (Lat. nomine).40 **cumo** > como ... ...のように 40 **cilo** > cielo 天空 41 **seglo** > siglo 時, 時代 41 **iugara** > juzgará 裁くだろう pron. [u(d)gará] 45 **cudo** = creo 私は思う Lat. cogito (cogitre). pron. [kuído].46 **ueer** > ver 見る ueer lo he は分離未来形 46 **uegada** (s. XIII-XVII) = vez 度, 回

### ●虚辞の否定語

34 は疑問文なので本来ならば否定語は必要ないはずだが、心理的に「かつて一度もなかったことだ」という否定の意味が含まれているために表現されたもので、「虚辞」(expletivo)という。

(5)

48	Nacido es el Criador
49	de todas las gentes maior;
50	bine lo ueo que es uerdad;
51	ire ala, par caridad.

【語句】51 **par caridad** 是非, 本当に (強調, 「誓い」の表現で用いられた), cf. 87.



(6)

*Escena III*

*Caspar y los otros dos Reyes, a Herodes.*

*(Caspar)*

- 74 Salue te el Criador, Dios te curie de mal,  
75 un poco te dizeremos , non te queremos al,  
76 Dios te de longa uita i te curie de mal;  
77 imos in romeria aquel rei adorar  
78 que es nacido in tierra, nol podemos fallar.

*(Herodes)*

- 79 Que decides, o ides? A quin ides buscar?  
80 De qual terra uenides, o queredes andar?  
81 Decid me uostros nombres, nom los querades celar.

【語句】74 **Salue** > salve 救いたまえ 74 **curie** curiar (s. XII-XIII) = guarde, guardar; cuide, cuidar 護る 75 **dizeremos** > diremos 私たちはお話しいたしましょう。90を参照 76 **al** = otra cosa 他のこと 76 **longa** = larga 長い 77 **imos** > vamos 私たちは行く 78 **fallar** > faltar 会わずにおく 79 **decides** > decís 言う 79 **o** > adónde どこへ 79 **ides** = vais 80 **terra** > tierra 土地 cf. 84 tierra 80 **uenides** > venís 汝らが来る 80 **queredes** > queréis 81 **uostros** > vuestros 汝らの 81 **querades** > queráis 81 **celar** > ocultar 隠す。

(7)

*(Caspar)*

- 82 A mi dizen Caspar,  
83 est otro Melchior, ad achest Baltasar.  
84 Rei, un rei es nacido que es senior de tierra,  
85 que mandara el seclo en grant pace sin es gera.

*(Herodes)*

- 86 Es asi por uertad?

(*Caspar*)  
87 Si, rei, por caridad.

(*Herodes*)  
88 I cumo lo sabedes?  
89 Ia prouado lo auedes?

【語句】83 **ad** (ed) > a ……に 85 **mandara** > mandará 治めるだろう 85 **seclo** > siglo 時, 時代 cf. 43 **seglo** 85 **gera** > guerra cf. 24 **guera** 88 **cumo** > cómo いかかにして 89 **auedes** > habéis.

(8)

(*Caspar*)  
90 Rei, uertad te dizremos,  
91 que prouado lo auemos.

(*Melchor*)  
92 Esto es grand marauila,  
93 un strela es nacida.

(*Baltasar*)  
94 Sennal face que es nacido  
95 i in carne humana uenido.

(*Herodes*)  
96 Quanto i a que la uistes  
97 i que la percibistis?

(*Caspar*)  
98 Tredze dias a,  
99 i mais non auera,

100	que la auemos ueida
101	i bine percebida.

【語句】90 **dizremos** > diremos, cf. 75 **dizeremos** 94 **face** > hace 95 **in** > en 96 **i a** > hay, = hace 「時間がたつ」。97 **percibistis**, percibir > apercibisteis, apercibir 認める。-istis はラテン語の活用語尾。98 **tredze** > trece 13 の 99 **auera** > habrá 100 **la auemos ueida** > la hemos visto.

### ●「存在」の hay

96 「そこに」という意味の弱勢の副詞 **i** (Lat. **ibi**) は動詞 **a** の前にも後にもあった。次第に動詞の後に位置に固定し **a + i** から現代語の **hay** 「ある, いる」が成立した。

### 【参考文献】

- Gifford, D. J. y Hodcroft, F. W. 1966. *Textos lingüísticos del medievo español*. Oxford. The Dolphin Books.
- Lapesa, Rafael. 1954. “Sobre el *Auto de los Reyes Magos*: sus rimas anómalas y el posible origen de su autor”, *Homenaje a Fritz Krüger*, II. Universidad Nacional de Cuyo, Mendoza, recogido en *De la edad media a nuestros días. Estudios de historia literaria*, Madrid, Gredos, pp.37-47.
- Menéndez Pidal, Ramón. 1976. *Textos medievales españoles. Ediciones críticas y estudios*. Madrid. Espasa-Calpe, pp.169-177.

【課題 4a】スペイン文学の古典や現代の定型詩を取り上げ、脚韻の種類や効果について考察しなさい。日本の定型詩の形式と比較しなさい。

【課題 4b】スペインの中世の劇が教会で行われた理由を社会的・心理的要因を含めて考察しなさい。

【課題 4c】本文と『聖書』「マタイによる福音書」2 を比較しなさい。

【課題 4d】現代の **Reyes Magos** の祝祭について調べなさい。

FIN